

ごあいさつ

このたびは追手門学院大学附属図書館『宮本輝ミュージアム』にご来場いただき、誠にありがとうございます。2012年春、「草原の椅子」をテーマに企画展を開催します。

「草原の椅子」(1997年 毎日新聞社刊)は、『毎日新聞』で1997年12月～1998年12月に連載された長編小説です。

主人公の50歳の男性は、取引先の社長である同年齢の男性と、ある事件をきっかけに親友の仲になります。さまざまなことを語り合う中で自分の人生を模索し始める2人。やがて彼らは、自らに蓄積された固定観念をリセットするべく、タクラマカン砂漠とパキスタン・フンザへの旅に出ることを決意します。

この企画展では、小説の紹介とともに、新聞連載時に挿絵を担当された北村公司氏の挿絵とメッセージもご紹介します。また、作品が描かれた背景として、宮本輝氏自身がシルクロードを旅し執筆した紀行エッセイ「ひとたびはポプラに臥す」にも焦点を当てて展示を行っております。皆様に「草原の椅子」の世界をより深く味わっていただければ幸いです。

今回の企画展に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。関係各位の多大なるご協力に感謝し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

宮本輝ミュージアム